

いなか暮らし交流会を開催!

―移住者と地元住民の交流促進のために―



▲いなか暮らし交流会にて集合写真

されました。

当日は、絶好の晴天に恵まれ、ときおり川面を吹き抜ける涼やかな風が吹く中、移住者・移住希望者・地元住民・交流会開催スタッフ併せて74名(大人61名、子ども13名)が集まりました。

この交流会は大田中央地域まちづくり委員会(森山護会長)が主催し、地元久利まちづくりセンターを中心に地元自治会、食育ボランティアの協力により運営されました。

「住民同士の交流促進を目的にここ久利町の名勝地を舞台に、大田初の試みとして開催します」との森山護会長の挨拶から交流会はスタート。

大人は木陰の下で一人ひとりが自己紹介・UIター



▲座談会



▲子ども自然探検

た子供たちは川原でカニを捕まえたり、小魚を追いかけてたりして大田の自然を満喫していました。

その後、親睦を深めるため、みんなでバーベ

キューを行いました。地元でとれた野菜や米、イノシシ肉などを食育ボランティアが調理した絶品の料理の数々。料理を中心に人が集

まり、いたるところで会話の花が咲き楽しいひと時を過ごしました。閉会の時は、移住者代表が「地域の事、地域の人を知ることができ、大変有意義な会でした。今後も、このような会を継続してほしい」と挨拶しました。

今回の会は、地域の皆さん的一致団結した取り組みが結実して開催されました。大田市は今後もこのような地域の取り組みを応援していきます。

昨年度、定住促進事業を活用して約50名が大田市に定住しました。また友人や親戚などを手掛かりに定住した人もたくさんいます。移住者と地元住民、また移住者同士の交流を促進するため、8月9日に久利町市原の名勝「ねずみ淵」で「いなか暮らし交流会」が開催

「子ども自然探検」も開催。和田松治さん(久利町)の説明を受けながら、参加し

山村留学センター発

今年もやります! 収穫祭

11/14(土) 13時～ 15(日) 10時～

長期の留学生は、センターを拠点に学校へ通いながら、自然体験活動、農家生活、北三瓶のみなさんとの交流など、刺激的で充実した日々を過ごしています。今年も11月に、自分たちが育てた作物の収穫と山村留学生活で得た「心の収穫」を祝う収穫祭を開催します。留学生たちによる活動成果の発表やバザーをご用意します。お越しく下さいね。お待ちしております。

【お知らせ】センターでは、平成28年度の長期留学生の募集をはじめます。関心のあるお子さん・お孫さんがいらっしゃるご家庭はぜひお問い合わせを。

大田市山村留学センター ☎: 0854-86-0700
<http://www.city.ohda.lg.jp/tag/609/>